

会社概要 (2019年4月20日現在)

商号	株式会社ダイサン DAISAN CO., LTD.
設立	1975 (昭和50) 年4月1日
本社	大阪市中央区南本町2-6-12 サンマリオンNBFタワー3階
資本金	566,760,000円
従業員数	377名(133名) 臨時雇用者の人員を() 外数で記載しております。

役員構成 (2019年4月20日現在)

代表取締役会長	三浦基和
代表取締役社長	藤田武敏
常務取締役	岡光正範
社外取締役 監査等委員	裴 薫
社外取締役 監査等委員	石 光 仁
社外取締役 監査等委員	豊 田 孝 二

株主メモ

事業年度	毎年4月21日から翌年4月20日まで
定時株主総会	毎年7月
基準日	定時株主総会・期末配当……………毎年 4 月20日 中間配当……………毎年10月20日

株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物の送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店 及び全国各支店で行っております。

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

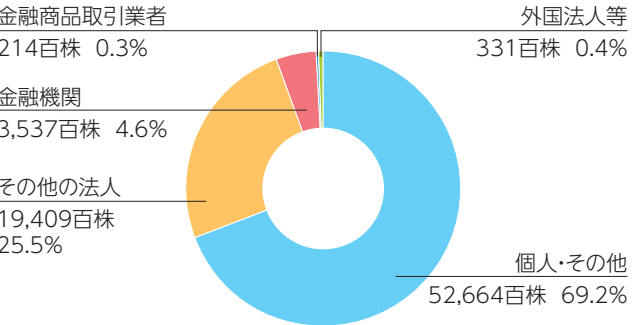
株式情報 (2019年4月20日現在)

発行可能株式総数	26,000,000株
発行済株式総数	7,618,000株(自己株式を含む)
株主総数	2,873名
単元株主数	2,598名 (議決権を行使することができる株主の総数)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社和顔	1,284	20.03
ダイサン取引先持株会	430	6.71
大原 春子	291	4.55
ダイサン従業員持株会	246	3.85
金沢 昭枝	240	3.75
三浦 民子	233	3.64
三浦 基和	228	3.56
大阪中小企業投資育成株式会社	200	3.12
三浦 宣子	128	2.00
角谷 清美	96	1.50
三浦 星美	96	1.50
三浦 摩美	96	1.50

(注)持株比率は自己株式(1,205,111株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



〒168-0063



差出有効期間
2020年6月
30日まで
(切手不要)

料金受取人払郵便
大阪東局 認
380

542

541-8790

大阪市中央区南本町2-6-12

株式会社ダイサン

経営企画室 経営企画課行



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。





TOP INTERVIEW

トップインタビュー

代表取締役社長

藤田 武敏

PROFILE

生年月日：1968年11月20日

社長就任日：2015年4月1日

出身校：中京大学

出身地：山口県

趣味：野球、スキー

Q 当期の業績についてお聞かせください。

A 当事業年度における業績について、売上高は増加、営業利益、経常利益は減少、当期純利益は微増となりました。当社に関連の深い住宅業界において、住宅着工戸数は前年同期と比べ弱い動きが続き、利用関係別では特に貸家に対する着工戸数の減少が目立ちました。

当社事業においては、上半期に発生した未曾有の自然災害により、第2四半期の後半から復旧工事の依頼が増え始め、下半期には施工サービス事業、製商品販売事業とも稼働状況はほぼ最大で推移致しました。

施工サービス事業においては、施工力の増強が課題であり、施工スタッフの採用活動に注力したものの、雇用情勢は厳しさを増し、目標とする採用数からは大幅に乖離したことから、夏場の酷暑により、施工スタッフの人数が想定以上に減少したことから、多くの施工依頼を断ることになりました。そのような中で、中層大型建築物向けの足場施工について、営業力強化を図り、薦職を専門に行う外部の足場施工会社と積極的に施工協力の体制構築を進めた結果、中層大型建築物向けの売上高は過去最高となりました。

製商品販売事業においては、当社の足場施工サービス事業と同様に足場の施工を行う取引先にて、自然災害に対する復旧工事が増えたことからビケ足場に対する需要が増え、製商品の販売は堅調に推移致しました。また、中層大型建築物工事向けに安全性を高め、軽量化も実現した新型足場「レボルト」の量産体制が整い、第4四半期会計期間中に販売を開始することができました。

当社の業績や中期経営計画について、詳しくはウェブサイトをご覧ください。

ダイサン IR

検索

Q 中期経営計画の進捗についてお聞かせください。

A 当社では、2019年4月期から2021年4月期までの3カ年を期間とする中期経営計画を策定し、中層大型建築物向け足場施工と製商品の販売拡大や施工サービス事業の資源を利用した事業領域の拡大、海外市場やインフラメンテナンス市場など新たな市場の開拓、多様な人財の獲得と働きやすい職場環境の構築など5つの重点戦略を掲げております。

1年目となる当事業年度については、減少が想定される新築注文向け工事から中層大型建築物向け工事への施工資源シフト、人手に頼らない建設現場に関わる新たなサービスの開拓、市場ニーズに対応した新型足場の開発、働く環境の改善として賃金や勤務体系など就労条件の改定を進めました。

Q 今後の見通しについてお聞かせください。

A 今後の見通しとして、当社に関連の深い住宅業界におきましては、住宅ローン金利は低位で推移するものと考えられますが、2019年10月に予定されている消費税増税による駆け込み需要は、前回増税時ほど影響せず、業績への影響は限られたものになると思われます。また、建設業における人手不足は厳しさを増し、労働力確保はさらに難しくなると想定されます。

このような環境の中、中期経営計画にて掲げている5つの重点戦略をさらに進め、中層大型建築物向け足場施工と製商品販売の拡大、建設現場向けのサービス開発と販売、また、2019年5月10日に子会社化を行ったシンガポールのプラント向けメンテナンス工事会社を中心とした海外市場とインフラメンテナンス市場の開拓を積極的に進めてまいります。

財務ハイライト

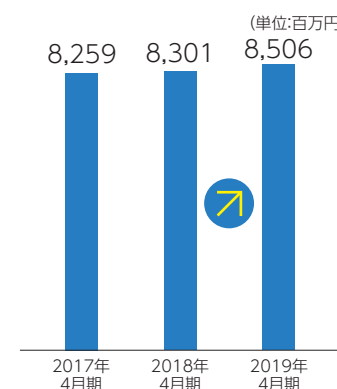
売上高

8,506
百万円

前期比2.5%増

第46期連結業績予想

9,600
百万円



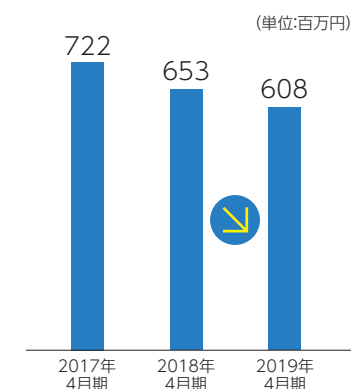
営業利益

608
百万円

前期比6.8%減

第46期連結業績予想

700
百万円



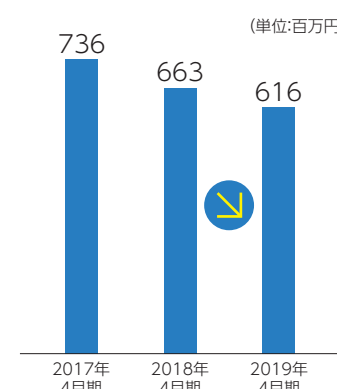
経常利益

616
百万円

前期比7.0%減

第46期連結業績予想

700
百万円



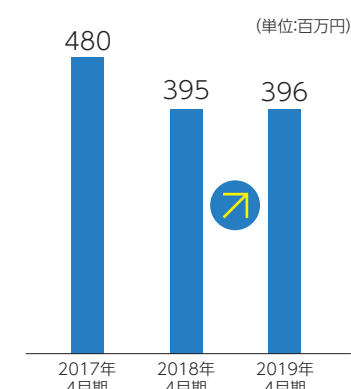
当期純利益

396
百万円

前期比0.2%増

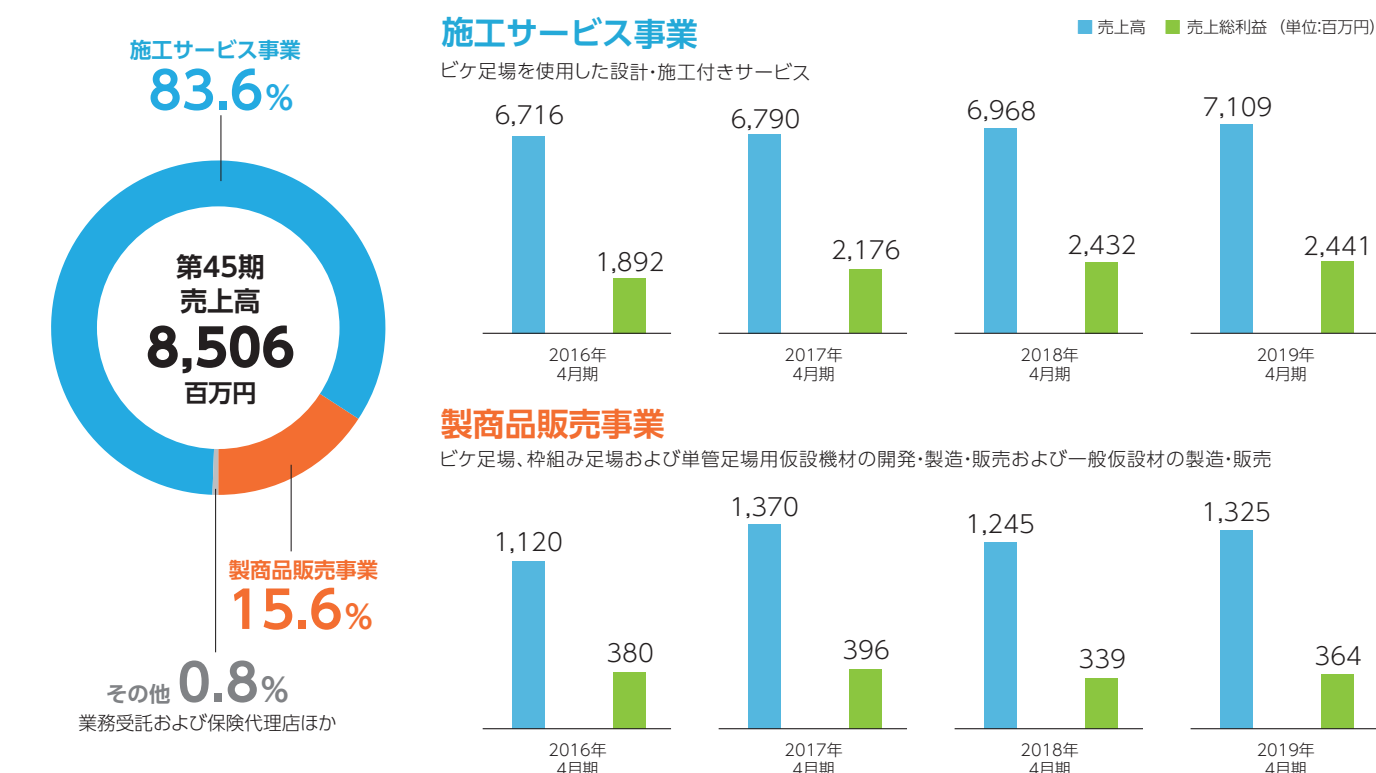
第46期連結業績予想

470
百万円



※2020年4月期より連結決算を開始するため、上記の業績予想は連結決算での記載であり、個別の業績予想の開示は行いません。

セグメント別概況



中期経営計画(45—47期)進捗報告

中期経営計画の初年度となる2019年4月期の業績は次の通りです。

	2018年4月期	2019年4月期 1年目	2020年4月期 (2年目目標値)	2021年4月期 (3年目目標値)
売上高	8,301百万円	目標値 8,700百万円 実績 8,506百万円	9,600百万円	10,500百万円
営業利益	653百万円	655百万円 608百万円	*700百万円	1,050百万円
営業利益率	7.9%	7.5% 7.2%	*7.3%	10.0%

※2019年5月31日「中期経営計画の修正に関するお知らせ」の通り2020年4月期の目標値を修正しております。

5つの重点戦略達成事項

- 中層大型建築物向け足場施工の売上高増(前年比55.4%増・過去最高額を更新)
- 開発を進めていた新型足場の販売開始
- 新たなビジネスモデルの構築を目的にDRC株式会社を子会社化
- 海外市場への足掛かり
2019年5月10日 Miradorグループ子会社化(株式取得)
2019年5月21日 ベトナムにて子会社設立

新型足場 レボルト販売開始

施工性と静音、安全と安心
Le-volt
～受け継がれたDNA～

慣れ親しんだビケ足場と同じ作業動作で施工することができ大型建築物向け足場に必要機能を兼ね備えております。

住宅向け足場を中心にご採用いただいているビケ足場と併せ、同製品による大型建築物向け市場の製商品販売・足場施工サービスの拡大に向け取り組んでまいります。



現場管理システム 魚眼くん



第42期の取り扱い開始当初は「防犯カメラシステム」として、足場施工サービスと併せて提案を進めてまいりました。しかしながら、建設現場における人手不足の影響を受け、現場に足を運ばずとも遠隔から複数の現場管理ができる「現場管理システム」としてのニーズが広がっております。

従来に比べて視界が広い魚眼カメラを採用し、スマートフォンからも閲覧が可能な「魚眼くん」の拡販に注力しております。



製品展示会「BSSフェア2018」において製品披露を行い多くのお客様に触れていただく機会となりました。



生産効率に向けた設備投資も積極的に行っております。

新たな市場への挑戦

海外事業

シンガポール

Miradorグループ子会社化

Miradorグループ	Mirador Building Contractor Pte. Ltd.	Golden Light House Engineering Pte. Ltd.	PM & I Pte. Ltd.
主な事業内容	足場工事、熱絶縁工事、塗装、電気設備工事	ショットブラスト、足場工事、熱絶縁工事、塗装	人材派遣
資本金	4,000,000シンガポールドル [331百万円] ※1	300,000シンガポールドル [25百万円] ※1	120,000シンガポールドル [10百万円] ※1
最新期の売上高	▶2018年12月 17,423千シンガポールドル [1,411百万円] ※2	▶2018年6月 939千シンガポールドル [76百万円] ※3	▶2018年12月 120千シンガポールドル [10百万円] ※2
URL	https://www.miradorbcpl.com/		

※1 2019年4月17日時点
※2 直近期末日レート
※3 直近期末日レート

1シンガポールドル=82円77銭
1シンガポールドル=80円99銭
1シンガポールドル=80円86銭



理念である「新しい足場文化と安全文化の創造」を当社が国外でも展開することにより、双方の企業価値をさらに高めるシナジーになり得ると考え、株式を取得することと致しました。

Miradorグループは、シンガポールにて主にプラントのメンテナンス向けに、足場工事を中心とした熱絶縁工事や電気工事などの付帯工事を受注する事業を展開しており、「100% customer satisfaction(100%の顧客満足)」をビジョンに掲げ、最高レベルの安全性と品質の提供を使命に600人を超える外国人施工スタッフを雇用しております。

この度、Miradorグループの外国人施工スタッフを採用、育成する優れたビジネスモデルとプラント向け工事の経験、他国へのコネクションが、当社の掲げる市場戦略を推し進めると共に、



ベトナム

DAISAN INTERNATIONAL VIETNAM CO.,LTD.子会社設立

2018年5月より、日本国内の足場工事に必要となる計画図の製作を一部ベトナムにて外注しておりましたが、この度、作図作業のさらなる展開に加え、弊社で実習を行った外国人技能実習生が帰国した際に、足場ビジネスを展開するためのサポートや、足場のレンタル等、同国においての事業展開が十分期待できると判断し、子会社を設立することと致しました。



国内事業

DRC子会社化

主にカーシェアリングやサイクルシェアリング、シェアオフィスなどのシェアリング向け製商品の企画・開発・生産・販売を手掛け、その導入に関するノウハウも蓄積していることから、今後、建設現場に関わるシェアリングサービスを開拓・構築する上で強みになると判断し、株式を取得することと致しました。

子会社化以降、システム関連の企画開発を進めており、当社システムの内製化も視野に入れて活動を進めております。



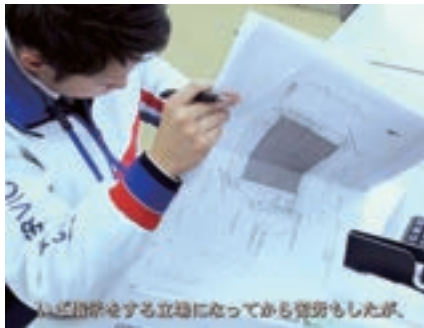
TOPICS

トピックス

01 CSRサイト公開

「感動を創るヒトに成長する」をコンセプトに、CSR活動の担い手である「ヒト」のチカラをはぐくむ土壤に焦点を当て、「人間力の育成」の取り組みをご案内しております。

また、ダイサンで働く「ヒト」のインタビューを通じ、企業文化や事業の社会的な意義をご紹介します。今後もCSR活動を推進し、企業価値向上に努めてまいります。



02 サービスセンターの開設・移転

施工サービス事業において、生産力および営業力強化を目的に次の通りサービスセンターを開設・移転しております。



川崎サービスセンター開設



埼玉東サービスセンター移転

FINANCIAL STATEMENTS

財務諸表

貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

科 目	当期末 (2019年4月20日現在)	前期末 (2018年4月20日現在)
資産の部		
流動資産	5,522	4,943
固定資産	3,724	3,328
有形固定資産	2,362	1,982
無形固定資産	153	92
投資その他の資産	1,208	1,254
資産合計	9,247	8,272
負債の部		
流動負債	2,024	1,400
固定負債	290	166
負債合計	2,315	1,566
純資産の部		
株主資本	6,861	6,632
評価・換算差額等	70	73
純資産合計	6,932	6,705
負債純資産合計	9,247	8,272

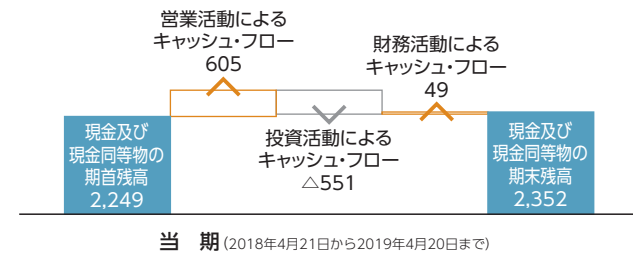
損益計算書の要旨

(単位：百万円)

科 目	当 期 (2018年4月21日から 2019年4月20日まで)	前 期 (2017年4月21日から 2018年4月20日まで)
売上高	8,506	8,301
売上原価	5,659	5,477
売上総利益	2,846	2,823
販売費及び一般管理費	2,237	2,170
営業利益	608	653
営業外収益	16	19
営業外費用	8	9
経常利益	616	663
特別損失	2	33
税引前当期純利益	614	630
法人税、住民税及び事業税	226	228
法人税等調整額	△7	6
当期純利益	396	395

キャッシュ・フロー計算書の要旨

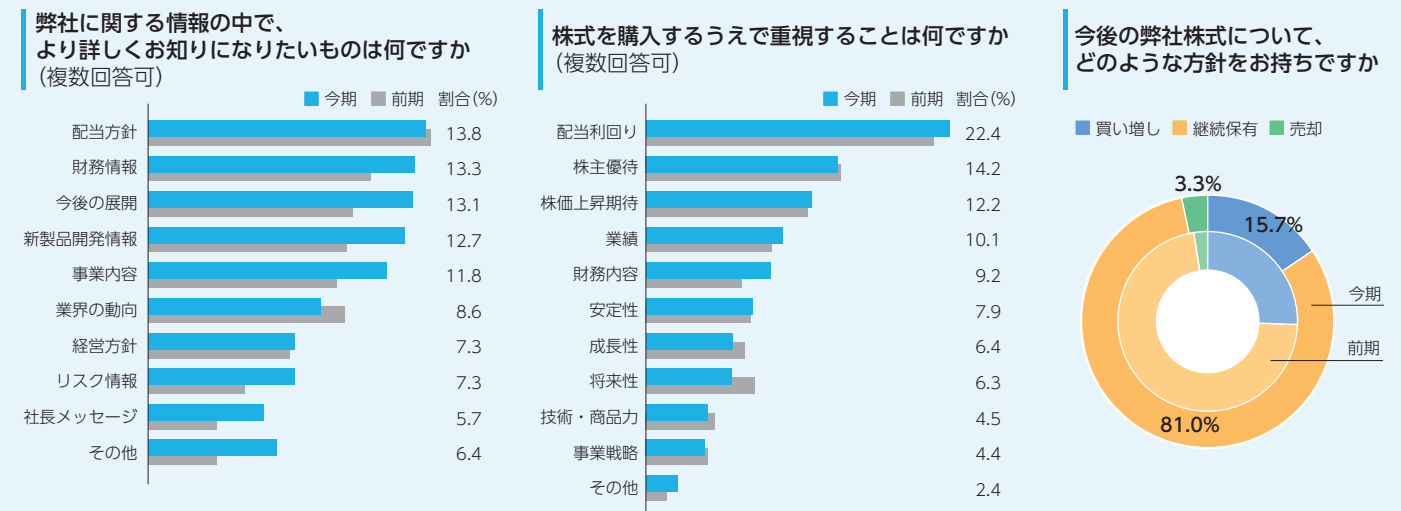
(単位：百万円)



株主アンケート結果報告

第44期の年次報告書(DAISANREPORT)にてご案内させていただきました「株主アンケート」では、332名(株主総数の12.6%)の株主様からご回答をいただきました。

以下に、2019年4月20日時点で集計しましたアンケート結果の一部をご紹介します。



ご協力いただきました株主様には、誠にありがたく、お礼申し上げます。

いただいたコメントに関して、説明会開催のご要望が多数ございましたが、今期におきましても個人投資家様向けの説明会を開催させていただきました。来期におきましても積極的に開催させていただき、皆様との対話を進めてまいります。

なお、頂戴致しました株主様の貴重なご意見は、今後のIR活動、情報発信等に活かしてまいりたいと存じます。

Instagram 始めました



現場の様子や社内イベントなどお届けしております。

ダイサン Instagram 検索

IRカレンダーをご覧ください

4月期決算 発表予定			定時株主 総会予定			第1四半期 決算発表予定			第2四半期 決算発表予定			第3四半期 決算発表予定		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期					

当期では、計5カ所で開催個人投資家様向け説明会・株式投資セミナーを開催致しました。来期の開催予定など、随時更新を予定しておりますので、ぜひご覧ください。

株主の皆様へアンケートのお願い

アンケート項目

- 報告内容をご覧になり、弊社の経営方針・取組みについて、どのくらいご理解いただけたでしょうか?
☐ 良く理解できた ☐ まあまあ理解できた ☐ 分からない点が残った
 - 報告内容をご覧になり、弊社をどのように評価されますか? (複数回答可)
☐ 事業戦略が有望である ☐ 研究開発力がある ☐ 商品・サービスが優れている ☐ 経営が魅力的である ☐ 経営の仕組が優れている ☐ 人材が優れている ☐ その他 ()
 - 報告書をご覧になり、弊社に対するイメージや投資判断は変わりましたか?
☐ とても良くなった ☐ 良くなった ☐ 変わった ☐ 悪くなった ☐ 悪くなった
 - 弊社に関する情報の中で、より詳しくお知りになりたいものは何ですか? (複数回答可)
☐ 事業内容 ☐ 財務情報 ☐ 新製品開発情報 ☐ 経営方針 ☐ 業界の動向 ☐ リスク情報 ☐ 社長メッセージ ☐ CSR(企業の社会的責任)の取組み ☐ 配当方針 ☐ ガバナンス強化の取組み ☐ 今後の展開 ☐ その他 ()
 - 株式投資の主な情報収集源は何ですか? (複数回答可)
☐ 新聞 ☐ 会社説明会 ☐ 証券会社 ☐ 雑誌 ☐ テレビ・ラジオ ☐ 企業のIR資料 ☐ 投資・金融情報などのホームページ ☐ 企業のホームページ ☐ クラウド・SNSなど ☐ その他 ()
 - 株式を購入する上で重視することは何ですか? (複数回答可)
☐ 株価上昇期待 ☐ 事業戦略 ☐ 業績 ☐ 配当利回り ☐ 財務内容 ☐ 技術・商品力 ☐ 安定性 ☐ 将来性 ☐ 成長性 ☐ 株主優待 ☐ IRに対する取組み ☐ その他 ()
 - 今後の弊社株式について、どのような方針をお持ちですか?
☐ 買い増し ☐ 継続保有 ☐ 売却
 - 今後、弊社に期待すること、ご提案事項等がございましたらご記入ください。
- ご協力ありがとうございました。